

平成24年度大学図書館近畿イニシアティブ運営委員会（第2回）議事概要

日時 平成25年2月21日（木）15:10～17:50
場所 関西大学（千里山キャンパス）尚文館 特別会議室
出席 柴田、金（関西大学）、中、鹿田（近畿大学）、奥野（奈良大学）、井上、村上（龍谷大学）、續木（京都文教短期大学）、吉井、平方（大阪市立大学）、赤崎、大前（大阪府立大学）、奥田、家住（大阪大学）、山田、前川（神戸大学）、土屋（神戸大学・能力開発専門委員会主査）、栃谷、相原、渡邊（京都大学）

I. 報告事項

1. 平成24年度活動報告

(1) 事務局

相原委員から、資料2に基づいて、平成24年度近畿イニシアの活動概要について報告があった。また、今年度より近畿イニシアの協力事業（アンケート等）も掲載することとなった。

(2) 各専門委員会

1) 能力開発専門委員会

土屋主査から、資料3に基づいて、基礎研修「初任者研修」の実施内容、能力開発専門委員会の活動概要について報告があった。賛助会員の研修申込期間の設定については問題の起さない範囲で委員会の判断に任せることが確認され、研修会開催日直前に委員の交代がおこなわれてしまう状況については継続審議の課題とされた。

2) 広報・Web専門委員会

吉井主査から、資料4に基づいて、広報・Web専門委員会の活動概要、ホームページのアクセス件数について報告があった。アクセス件数については、全体として増加しつつ、今年度の推移が安定的な傾向として続くだろうという予想が示された。

3) 外部資金担当

平方委員から、資料5に基づいて、賛助会員申込状況及び広告掲載について報告があった。賛助会員の継続が難しい状況であることが確認された。

(3) 各協（議）会・各大学

1) 国立大学図書館協会

栃谷委員長から、11月13日に行われた理事会のテーマ（海外派遣事業等）、12月3日に行われたシンポジウム（ラーニングコモンズ）、1月24日に行われた学術流通改革セミナーについて報告があった。

2) 公立大学協会図書館協議会

平方委員から、6月に開催された総会のテーマ（平成25年度からの全国研修会廃止、宮城大学における被災地支援、規程の改正、会費の値下げ等）について報告があった。

3) 私立大学図書館協会西地区部会京都地区協議会

奥野委員から、7月6日に開催された第一回研究会のテーマ（海外集合研修、業務委託）、近畿日本鉄道の社史配布への仲介、NDL行事への広報協力、10月18～19日に開催された総会・第二回研究会（和古書目録）の実施状況について報告があった。

- 4) 私立大学図書館協会西地区部会阪神地区協議会
金委員から、2月22日に開催される予定の講演会（学術史）と総会の議題（イニシア委員選出の輪番制、阪神地区での雑誌分担保存の見直し、複写料金の取り決め等）について報告があった。
- 5) 私立短期大学図書館協会近畿地区協議会
續木委員から、4月27日に開催された総会、9月に近畿で開催された全国研修会のテーマ（短大図書館独自の課題）についての報告があった。また、イニシア委員館の交代予定について報告があった。

II. 協議事項

1. 講師謝礼等基準の改正について
相原委員から、資料6に基づいて前回委員会で同意された謝礼等基準の改正案について説明があり、協議の結果、一部字句訂正の上、後日メール審議を経て改定することが確認された。なお、謝礼を計算するための時間は、基本的には当日の拘束時間（昼食等を除く）を基準とするが、規程類には盛り込まず、個々の研修内容によって判断することが確認された。
2. 平成24年度決算（案）・監査報告
相原委員から、別紙資料に基づいて決算（案）の説明があり、監事館の井上委員から監査報告があり、協議の結果、了承された。
3. 平成24年度活動報告（案）
相原委員から、資料7に基づいて年次報告が提案され、協議の結果、了承された。内容について修正事項があれば3月中旬に事務局に報告することとなった。
4. 平成25年度事業計画（案）
 - (1) 能力開発専門委員会
土屋主査から、資料8に基づいて平成25年度中級研修企画案及び実施案が提案され、協議の結果、了承された。なお、講師の拘束時間は案1から昼食時間である1時間を減じた6.5時間を基準とし、6万円を支給することとなった。また、委員から参加費の徴収について提案があり、後述のイニシア加盟館への会費徴収の件と併せて継続審議の課題となった。
 - (2) 広報・Web専門委員会
吉井委員から、資料9に基づいて広報活動の提案があり、了承された。
 - (3) 外部資金担当
平方委員から、資料10に基づいて賛助会員・広告掲載の募集について提案があり、了承された。広告は冊子ではなく一枚ものの配布物という形で掲載することが確認された。また、法人・団体の賛助会員について2年間の会員期間と割引会費・特典を設定した新しい会員形態の提案があり、了承された。特典のイニシアWebサイトトップページ掲載のデザインについては、広報・Web専門委員会で調整されることとなった。また、近畿イニシア加盟館への会費徴収について提案があり、前述の研修会の参加費の件と併せて継続審議の課題となった。なお、議論にあたり、安定的な財源確保の問題が提起され、自主財源の必要性、受益者（研修会）負担の概

念、所属会費を求めない前提で始まった経緯等の情報が共有された上で、次回の運営委員会までに、各委員が母体協（議）会で「寄附財源のみに依存するのではなく、自主財源を持つべきか」「自主財源にはどのような方法が考えられるか」を相談し、アイデアを持ち寄ることが確認された。

III. その他

1. 次回開催予定

次回運営委員会は神戸大学を会場として、開催することとした。次々回運営委員会は龍谷大学を候補として、次回の運営委員会で決定することとなった。

2. 平成25年度の体制等

5月末で任期を満了する運営委員会・能力開発専門委員会について、各協（議）会において後任委員を選出することを確認された。また、5月までに異動等で委員を交代する必要が出来た場合は、各館で後任を手配することが確認された。

3. その他

栃谷委員長から、近畿地区におけるNII 目録システム講習会の開催状況と充足率の状況について確認があり、開催館もしくは講師派遣について協力要請が行われた。

鹿田委員から、近畿イニシアの趣旨・事業を踏まえて、今後の近畿イニシアの活動の進め方について再度検討する提案があり、次回の運営委員会で協議することが確認された。

以 上